

こころ育てる絵本との出会い

マクちゃん通信

2012 2 - 3 vol. **12**

絵本原画展

工藤ノリコ

特集「さん おう残鶯の春」



工藤ノリコ

ピヨピヨひよこ5匹きょうだい
おっとりママにやさしいパパ
平和でハッピーな世界を
すみずみまでお楽しみください。



工藤ノリコ(くどう のりこ)プロフィール

絵本作家・漫画家。1970年横浜市生まれ。女子美術短期大学卒業。絵本に『センシュちゃんとウオットちゃん』(小学館)『セミくんいよいよこんやです』(教育画劇)『ピヨピヨスーパーマーケット』(佼成出版社)『ペンギンきょうだいふねのたび』(ブロンズ新社)『レターズ』(偕成社)など。読み物に『マルガリータとかいぞく船』(あかね書房)など。マンガに『ワンワンちゃんデラックス』(白泉社)など。



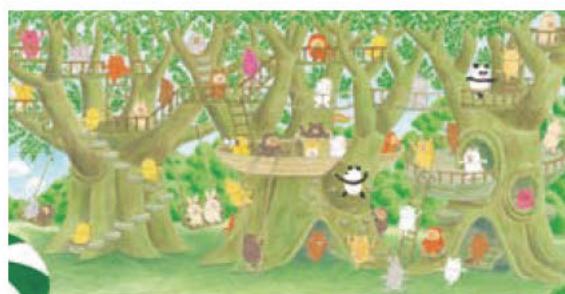
©工藤ノリコ

絵本原画展開催

平成24年2月4日(土)～平成24年3月29日(木)



『ピヨピヨスーパーマーケット』
(佼成出版社)



『ピヨピヨもりのゆうえんち』
(佼成出版社)

原画展示絵本

春のギャラリーでは、人気のピヨピヨシリーズから

『ピヨピヨもりのゆうえんち』『ピヨピヨスーパーマーケット』をご紹介します。

工藤ノリコ先生に

インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

小さいころから絵を描くのお話を作るのが大好きだったので自然と絵本作家になろうと思っていました。絵本専門店・トムズボックスの土井章史さんに作品を見てもらったのがデビューのきっかけです。



デビュー作
『コバンツアーかぶしきがいしゃ』
(偕成社)

画材は何を使っていらっしゃるんですか？

鉛筆、色鉛筆、水彩絵の具です。以前はカラーインクやカラーペンを使用していましたが、いまでは水彩絵の具になりました。とてもおもしろい画材です。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

『ピヨピヨもりのゆうえんち』

電力を使わないで遊べる、アスレチックな遊園地を描いてみたいと思いました。

子どものころに家族で出かけたアスレチックがおもしろかったので。自分もいっしょに遊んでいる気分楽しんで描きました。

『ピヨピヨスーパーマーケット』

実際にスーパーの取材をして、たくさんの商品や棚をいろいろ工夫してびっしり描きました。カゴをのせるカートなどもいざ描こうとするとなかなかむずかしかったです。お菓子などをいろいろ描くのは楽しかったです。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本を教えてください。

どの絵本も自分の分身のように大切な存在ですが、ボルネオの友だちをテーマに描いた絵本『センシュちゃんとウオットちゃんのバナナじま』です。ボルネオの森を訪れて感じたことをお話に描き、失われたつづある熱帯雨林についてあとがきに書きました。機会があったらどうかぜひご覧ください。



『センシュちゃんとウオットちゃんのバナナじま』
(小学館2010年)

絵本をお作りになるときのこだわりは？
自分でおもしろいと思えるものを、納得するまで考えて作っています。

絵本を通じてお伝えになりたいことは？
読んだ方が、それぞれ自由に感じてくださったら嬉しいです。

今後どのような絵本を描いていかれますか？
心に浮かんだいろいろな断片を、じっくり形にしていきたいと思っています。文章がたくさんで、さし絵も自分で描く、そういう本もこれから作っていこうと思っています。

ご趣味についてお聞かせください。
旅行に出かけること、世界の昔話を読むこと、音楽を聴くことです。

好きな言葉を教えてください。
「なるようになるさ」外国風にいうと「ケセラセラ」です。

ファンの皆さんへメッセージをお願いします。
絵本を読んでくださっているみなさん、どうもありがとうございます。みんなでなかよく、すこやかで楽しい毎日をおくりましょうね。

工藤ノリコ先生、ありがとうございました！



『ピヨピヨスーパーマーケット』
(佼成出版社)

工藤ノリコ先生 サイン入りの絵本を 3名様にプレゼント

応募方法 氏名、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。

あて先 〒939-0283 射水市鳥取50

射水市大島絵本館

工藤ノリコサイン本プレゼント係

締め切り 平成24年3月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。





高井 進
射水市絵本文化振興財団 理事長

特集 / 残鶯の春

残鶯の春

いざや入りませ吾が家に
されど去ります日あらば
忘れ給うな若き日の
ハイデルベルクの学舎の
幸多き日の想い出を

古城の辺に秋長けて
一歳六月の夢何処
朝に夕べに星霜の
巡るもこよけき吾が春の
逝きにし永遠に帰るまで

戯曲「アルト ハイデルベルク」より

昭和26年春、私はひとり姫路城膝下
にあり、見事な白鷺城を見上げていた。
この年、その城の背後にある学舎で教養
課程の一年半を過ごすため胸をわくわく
させながらの上阪であった。

旧制高校や陸・海軍幹部養成校など
から、洪水のように押し寄せる帰還学徒
に伍し、とても合格するとも思えなかつ
た。だが入学直後から学問の難解さに悲
鳴をあげた。殊に高等数学や語学などが
すさまじいものがあった。

*

救いは素晴らしい友人に出会えた事
だった。生涯の友となった木村英二理学
博士のことだ。彼はドイツ語は勿論フラ
ンス語を独学で既に物にし、今日やや熱
がさめた感もあるが、世界語といわれた

エスペラント語を高校時代にマスターし
世界と交流を図っていた。

ところで彼の口伝で教養時代に私が
唯一獲得したドイツ語の歌がある。両国
共の学生が国を誇りにしている点が似て
いるばかりではない。そこから学生たちの
志の高さが伝わってくる秀歌である。そ
の後、姫路に何度か足を運ぶうち、ゆる
ぎない一つの想念が出来上がった。

*

昭和30年4月本場にラッキーにも静岡
県で数少ない日本史学教員として採用
されて遠州の砂丘地農業で有名な池新
田高校に赴任し、クラス担任をさせて頂
いた。その後、藤枝西、井波、富山、富山
中部の生徒さんたち(総計753人の皆
さん)にこの歌をクラスソングとして認め
てもらい生涯共に歌おう、という私の想
念が実現したのである。

「忘れ給うな若き日の…」と涙を流し
彼岸(ドイツ)での邂逅を夢見て来たがこ
れはどうも夢に終りそうだ。だが残念な
こともない。ホームルームであの歌が歌え
たことに感動し、今もってそのことを誇
りにしている元生徒の諸氏たちが元気に
活躍しているのが嬉しいのである。

木々の枝に芽吹く小さな新芽を見つ
け心が明るくなった。この春はどんな出
会いが待っているだろうか。

私のおすすめ絵本

『はじめての
やまのぼり』

美智子／文
武田 和子／絵
至光社



いつもだれかが見守ってくれる。
皇后陛下の優しさにあふれた絵本。

『すみれ島』

今西祐行／文
松永祐郎／絵
偕成社



清らかで美しい絵が平和への想いを
いっそう深くします。

『ゆうたはともだち』

きたやまようこ／作
あかね書房



シンプルな言葉に込められた大きなメッセージ。
私を絵本の虜にした1冊です。



『島になったじいさん』
八條かおる／作
射水市大島絵本館
瀬戸内の自然美を守ってきた
舟大工さん出世の逸品。



『みえとコウノトリ』
池田 啓／文
永田 朋／絵
フレーベル館
コウノトリと人間との共生を願う。
今できることはなにかを問いかけます。



『こぐまのハーモニカ』
ジョン・セバスチャン／文
ガース・ウィリアムズ／絵
三木 卓／訳 リブリオ出版
ハーモニカを通して
こぐまの心の成長を遂げます。



『うみをわたったこぶた』
木崎さと子／文
黒井 健／絵
岩崎書店
海の底ではすべての国が
つながっている。
年代を越えて読みたい絵本。



『アンジュール
一ある犬のものがたり』
ガブリエル・バンサン／作
BL出版
私の絵本の概念を覆した
文字のない絵本。
絵の力に圧倒されました。